

予 算 要 求 資 料

令和5年度当初予算

支出科目 款：農林水産業費 項：畜産業費 目：畜産振興費

事業名 畜産GAP拡大推進加速化事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

農政部 畜産振興課 飛騨牛銘柄推進室 銘柄推進係 電話番号：058-272-1111(内4138)

E-mail：c11437@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 308千円 (前年度予算額：0千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要求額	308	308	0	0	0	0	0	0	0
決定額	308	308	0	0	0	0	0	0	0

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨（現状と課題）

GAPは、その認証取得が2020東京オリパラの食材調達基準に採用されたこともあり、国・各県でその取得推進の取り組みがなされてきた。畜産GAPへの取り組み自体は、食品安全、家畜衛生、環境保全、労働安全、アニマルウェルフェアなどの諸項目を点検、改善していくものであり、持続可能な農場経営に資するものである。

(2) 事業内容

国は、持続可能な畜産経営、国際競争力強化のため、オリパラ後もGAPの取得を推進している。県としても、昨年度に引き続き、国の事業を活用し、県内農家への畜産GAPの普及、取り組みの指導、支援のため、GAP指導員の養成を行う（指導員資格の更新）とともに、県内畜産経営体におけるGAP認証取得を推進する。

(3) 県負担・補助率の考え方

国10/10（国事業を活用）

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
負担金	308	G A P 指導員研修受講料（資格更新：22千円×14名）
合計	308	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

- ・「清流の国ぎふ」創生総合戦略（3 地域にあふれる魅力と活力づくり(1)地域の魅力の創造・伝承・発信「④「ぎふブランド」づくり」）関連
- ・ぎふ農業・農村基本計画（第6章の1の（2） 安心で身近な「ぎふの食」づくり「②安心と信頼を届ける農畜水産物の生産展開」）関連

(2) 国の状況

- ・食料・農業・農村基本計画（第3の2. の（6）の④の「ア 農業生産工程管理の推進」）
- ・持続的生産強化対策事業（畜産GAP拡大推進加速化）

(3) 後年度の財政負担

- ・今後、流通業者よりG A Pの取得を求められることが予想されるため、認証取得推進の継続が必要。普及・指導体制を維持するため、指導員養成の継続（新規取得、2年毎更新）が必要となる。

事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

県内農家への畜産GAPの普及、取組みの指導、支援のため、GAP指導員の養成を行う（指導員資格の更新による指導体制の構築、維持）。

県内畜産経営体におけるGAP認証取得を推進する。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R元)	R3年度 実績	R4年度 目標	R5年度 目標	終期目標 (R5)	達成率
① GAP（畜産） 取得農家数（件）	0	4	6	7	7	57%
②						

○指標を設定することができない場合の理由

（これまでの取組内容と成果）

令和 2 年度	<p>・取組内容と成果を記載してください。 GAP指導員による指導により、県内2経営体がJGAP認証を取得した。</p> <p>指標① 目標：2 実績：2 達成率：100%</p>
令和 3 年度	<p>・取組内容と成果を記載してください。 GAP指導員による指導により、県内2経営体がJGAP認証を取得し、県内の取得経営体数は4戸となった。</p> <p>指標① 目標：4 実績：4 達成率：100%</p>
令和 4 年度	<p style="color: red;">令和6年度当初予算にて追加</p> <p>指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %</p>

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<p>・ 事業の必要性 (社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) <small>3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない</small></p>	
(評価) 3	<p>生産工程、食品の安全性や労働安全性などを明確に管理することは、持続的な経営を続けるうえで必要であり、畜産においてはGAPへの取組が必要となると想定される。</p>
<p>・ 事業の有効性 (指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) <small>3：期待以上の成果あり 2：期待どおりの成果あり 1：期待どおりの成果が得られていない 0：ほとんど成果が得られていない</small></p>	
(評価) 2	<p>GAPへの取組みを希望する経営体に対し、GAP指導員による指導を行い、認証取得を支援している。</p>
<p>・ 事業の効率性 (事業の実施方法の効率化は図られているか) <small>2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている</small></p>	
(評価) 2	<p>GAP指導員を養成することで、県下全域においてGAP指導が可能な体制を構築している。</p>

(今後の課題)

<p>・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 新たなGAP認証取得を希望する意欲ある経営体の掘り起こし ・ GAP指導員の指導員資格の更新（2年毎に更新が必要）

(次年度の方向性)

<p>・ 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか</p> <p>持続的な畜産経営を支援し、食品安全や労働安全等に寄与することから、県内畜産経営体へのGAPの普及、指導は継続が必要である。</p>
--

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

<p>組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課</p>	<p>【〇〇課】</p>
<p>組み合わせて実施する理由 や期待する効果 など</p>	